# 第6回 Joint Task Group 4-5-6-7会合 報告書（案）

## 1 JTG4-5-6-7

JTG4-5-6-7（Joint Task Group 4-5-6-7）は、2015年に開催予定の世界無線通信会議（WRC-15）の議題1.1及び議題1.2の検討のために設置されたグループである。

WRC-12において、WRC-15議題1.1「IMT及び他のモバイルブロードバンドの周波数関連事項に関する検討」及び議題1.2「第1地域での694-790MHzにおける移動業務への使用に関する検討」が設定され、WRC-12直後に開催されたCPM15-1会合にて議題1.1及び議題1.2の検討グループとして、衛星業務を扱うSG4、地上業務を扱うSG5、放送業務を扱うSG6及び科学業務を扱うSG7の共同の検討グループであるJTG4-5-6-7が設置されることとなった。

### 1.1 会議の概要及び審議体制

最終回となる第6回JTG4-5-6-7会合は、2014年7月21日から31日、スイス国ジュネーブ市のITU本部並びにCICGにて開催された。本会議には70カ国、62団体から約420名が参加し、日本からは別紙のとおり15名が出席した。本会合には、128件の寄与文書(日本からの寄与文書4件)が入力された。議長はMartin Fenton (英)が担当し、表1のとおり1つのWorking Group、11のAd-Hocと、その配下にSub Working Group、Drafting Groupを設置し検討が行われた。

表1 JTG4-5-6-7会合(第6回)の審議体制

| グループ名 | 担務内容 | 議 長 |
|---|---|---|
| JTG | | Martin Fenton (英)<br>(副議長)<br>Elsayed Azzouz (ｴｼﾞﾌﾟﾄ)<br>Johan Smit (南ｱﾌﾘｶ) |
| WG 1 | CPM Textの作成 | Cindy Cook (加) |
| SWG1-1 | 議題1.1 CPM Text 作成 | Diana Tomimura(伯) |
| DG3.1 | 議題1.1 CPM Text 3.1章の作成 | Hiroyuki Atarashi(日) |
| DG3.2/4.1 | 議題1.1 CPM Text 3.2、4.1章の作成 | Michael Kraemer (独) |
| DGCband | 議題1.1 CPM Text 5,6章のうちCバンド固定衛星業務に関する部分の作成 | Vadim Poskakukhin (露) |
| SWG1-2 | 議題1.2 CPM Text 作成 | Jose Carrascosa (仏) |
| Ad Hoc 1 | 候補周波数帯に関する見解の取りまとめ | John Lewis (韓) |
| Ad Hoc 2 | 議題1.1に関する放送業務に関連 | Amy Sanders(米) |
| Ad Hoc 3 | 議題1.2に関する放送業務に関連 | Roland Beutler(独) |
| Ad Hoc 4 | 航空テレメトリと第一地域のARNS | Michal Polzun(波) |

| | | |
|---|---|---|
| Ad Hoc 5 | 固定業務・移動業務関連 | Stephen Jones(英) |
| Ad Hoc 6 | レーダ関連 | Stephen Talbot(英) |
| Ad Hoc 7 | 5GHz帯無線LANと無線測位業務の共用 | Stephen Ward(米) |
| Ad Hoc 8 | 放送衛星業務関連 | Eric Fournier(仏) |
| Ad Hoc 9 | 移動衛星業務関連 | Paul Deedman(英) |
| Ad Hoc 10 | 1.4GHz帯の地球探査衛星業務関連 | Glenn Feldhake(米) |
| Ad Hoc 11 | 5GHz帯無線LANと地球探査衛星業務の共用 | Edoardo Marelli(ESA) |
| DG Parameters | 共用検討におけるパラメータ | Michael Kraemer (独) |

# 2　主要結果

## 2.1　議題1.1のCPMテキスト案

・議題1.1のCPMテキスト案の作成を完了した。主な記載内容としては、以下の通りである。

- IMT、RLANの所要周波数帯域幅（IMTは特定済み周波数含めて1 340-1 960 MHz）
- JTG4-5-6-7で実施した共用・両立性検討の結果（一部分析を含む）
- IMT、RLAN用候補帯域（日本のIMT候補帯域は全て記載された）
- 議題を満足するメソッド（一般的なメソッドとしてMethod A：NOC、Method B：移動分配、Method C：IMT特定）および規制的事項

・UHF帯に関しては、470-694/698MHzへのIMT分配を支持するアメリカ、カナダ、スウェーデンと既存業務保護を主張するイラン、ロシア、ブラジル、アルゼンチン、EBUが対立する構造となった。一方、アフリカ諸国も470-694MHzを放送、694-790MHzを移動業務で利用するためにGE-06の改訂を行ったことを報告して、放送保護の立場を表明した。

## 2.2　議題1.2のCPMテキスト案

・周波数下限の検討は 694MHzの一つのみとすることで合意された。

・IMT移動局の帯域外輻射電力の制限値（OOBE）が提案され、結論が出なかったため、CPMテキスト案の4章(Analysis of the results of studies)には3つの値を含む複数の値が異なる条件の下で算出されたと例として併記されることとなった(-56dBm/8MHz：ロシア、-42dBm/8MHz：CEPT、-25dBm/8MHz：アラブ諸国)

・SAB/SAPの検討（Issue D）は、使用可能上限を694MHzまでに削減するに基本的な考え方に不足分の周波数の補足方法（脚注分配）などが追記された。

## 2.3　議題1.1、1.2関連の共用検討

以下を新レポート案として承認し、関連SGへ送付することとした。

・470-694/698MHzにおける地上デジタル放送とIMTを含む広帯域移動通信の共用・両立性検討
・GE06エリア内の694-790MHzにおける地上デジタル放送とIMTの同一チャネル共用・両立性検討
・1452-1492MHzにおける放送と移動業務の共用検討
・1429-1535 MHzにおけるIMTと航空テレメトリシステムの共用検討
・470-694/698MHzにおけるIMTと固定業務の共用・両立性検討
・1350-1530MHzにおけるIMTと固定業務の共用・両立性検討
・3400-4200MHzにおけるIMTと固定業務の共用・両立性検討
・4400-4990MHzにおけるIMTとpoint-to-point固定無線システムの共用・両立性検討
・5925-6425MHzにおけるIMT屋内小セルと固定業務の共用・両立性検討
・1400-1427MHzの地球探査衛星業務と1375-1400MHz、1427-1452MHzの移動業務の共存検討

なお、GE06エリア内の694-790MHzにおける地上デジタル放送とIMTの隣接チャネル共用検討については、ロシアがOOBEとして-56dBm/8MHzを主張したが、ACSとACLRの値はバランスすべきとするフランスと合意できず、新レポート案とはせず、議長レポートに添付されることとなった。

その他最終的な完成・合意に至らなかった検討は、暫定新レポート草案や作業文書として、JTG4-5-6-7第6回会合議長報告に添付することとした。(付属資料3参照)

### 2.4　無線LAN

・レーダとの共用に関するレポート案は、AH7から作業文書として提案され、議長報告に添付された。
・EESS(能動)との共用に関するレポート案は、AH11から結論のテキストの一部に鍵カッコが残された状態でレポート案として提案されたが、合意できずにレポート草案として議長報告添付された。

### 2.5　その他

・候補周波数帯に関する各国・団体の見解をまとめた表を入力等に基づき更新した。本文章は、情報としてJTG議長報告に添付することとした。

## 3　各ＷＧ等における審議内容

### 3.1　WG1（CPM Textの作成）

（１）入力文書： SWG1.1、SWG1.2参照
（２）出力文書：4-5-6-7/TEMP172Rev1(議題1.1CPMテキスト案)

（３）出席者：全主管庁、メンバーから約400名

（４）審議概要：

WG1はCPMテキスト案の作成が所掌であったが、実質的議論と作業は、SWG1.1（議題1.1）およびSWG1.2（議題1.2）で行った。会合初期のWG1では、SWG1.1と1.2は同時開催しないなどの会合スケジュールの確認、文書割当の確認などのみを行った。会合終盤のWG1では、SWG1.1/1.2の出力文書の確認及びSWGレベルで解決できなかったCPMテキスト案の議論を行った。

### 3.1.1　SWG1.1（議題1.1 CPM Text 作成）

（１）入力文書：4-5-6-7/584 Annex 3(JTG議長報告), 589（JTG議長）, 592（CAN）, 593（CAN）, 596（UK）, 608（F）, 610（AUS）, 620（RUS）, 628（J）, 629（EOEMS）, 634（UK）, 641（B）, 642（B）, 643（B）, 644（B）, 645（ARG）, 647（KOR）, 652（USA）, 654（CHN）, 658（FIN）, 661（Terlstra）, 662（Telstra）, 663（Telstra）, 666（ESA）, 668（EBU）, 675（GSMA）, 682（ITA）, 684（ITA）, 689（S）, 692（UMTS）, 694（YahSat等）, 697（YahSat等）, 698（LUX）, 701（NDR, ZDF）, 702（S）, 706（ZWE）, 710（UAE）

（２）出力文書：4-5-6-7/TEMP172Rev1(議題1.1CPMテキスト案)

（３）出席者：全主管庁、メンバーから約400名

（４）審議概要：

SWG1.1では議題1.1のCPMテキスト案の作成を行った。審議体制は以下の通りであった。

- SWG1.1：全体、1章（サマリー）、2章（背景）、4.2章（候補周波数帯）、5章（議題を満足するメソッド）、6章（規制的事項）
  - DG3.1：3.1章（周波数要求条件）
  - DG3.2/4.1章（共用・両立性検討）
  - DGCband：5,6章のうちCバンド固定衛星関連

以下、UHF帯の放送業務に関連する部分とそれ以外に分けて記述する。

（４－１）審議概要(UHF帯の放送業務関連以外)

1章のサマリーについては、大きな議論はなく、IMTおよびRLANの周波数要求条件、候補帯域など各章のサマリーが記載された。

2章の背景についても、大きな議論はなく、議題設定の背景や決議233の内容が記載された。

3.1章の周波数要求条件については、DG3.1（議長：新氏（日本））を設置し詳細議論およびドラフティングが進められた。IMTについては、周波数要求条件を取りまとめたReport ITU-R M.2290の内容に不備があり、M.2290に基づく記載の修正を求める意見（LUX、RUS、IRN、衛星業界など）と、M.2290は適切でありM.2290に基づきテキ

スト案を作成すればよいという意見（J、CAN、B、USA、F、S、KOR、CHN、AUS、FIN、モバイル業界など）が対立したが、結果としてはM.2290に基づき2020年のグローバルの所要周波数帯域幅は特定済み周波数も含めて1 340-1 960 MHzという結論が維持された。また、WP5Dでの検討結果である好適な周波数レンジ（410-430 MHz, 470-790 MHz , 1 000-1 700 MHz, 2 025-2 110 MHz, 2 200-2 290 MHz, 2 700-5 000 MHz, 5 350-5 470 MHz および 5 850-6 425 MHz）も記載された。

議論の結果として反映された主なポイントは、以下の通りである。

・　グローバルの所要周波数帯域幅1 340-1 960 MHzが必ずしも全てのケースに当てはまらないということを、M.2290の国別周波数要求条件の表を参照することで反映した。

・　IMT特定済みの周波数の使用実態、使用計画の記載について、ITUでは情報がない（no information）という記載を合意した（この部分の表現については、IRNとKORが最後まで激しく対立した）。

・　所要周波数帯域幅をまとめた表の脚注として、当該数値が当てはまらない主管庁もあることを記載した。

RLANについては大きな議論はなく、WP5Aの検討結果である2018年の5GHz帯周辺の所要周波数帯域幅が880MHzであるとの結論が記載されるとともに、好適な周波数レンジ（5 350-5 470 MHz および 5 725-5 850 MHz）が記載された。しかし、好適な周波数レンジ域（5350-5470, 5750-5825MHz）が所要追加帯域幅に対して不足していることがロシアから再三指摘され、その旨がCPMテキスト案中に記載された。

3.2章の共用・両立性検討については、DG3.2/4.1（議長：M.Kraemer氏（独））を設置し、詳細議論、ドラフティングが行われた。3.2章では、4.1章の検討結果分析と記載内容が重複しないこと、周波数分配の情報や、関連するITU-R文書を事実ベースで記載すること、などの作業方針を合意した。結果として好適な周波数レンジに含まれる周波数帯の一部について、RRの分配情報や、JTG4-5-6-7で行われた共用・両立性検討が、JTG4-5-6-7で作成したITU-R新レポート案のリストなどとともに簡潔にまとめられた（overviewとして表でもまとめられた）。

4.1章の検討結果分析についてもDG3.2/4.1で議論が行われたが、技術検討を所掌する各AH（または関係者のオフライン議論）から技術検討のサマリーを収集することでベースのテキスト案を作成することを作業方針とした。また、各技術検討を含む新レポート案や作業文書のサマリーをそのまま記載することを原則とし、特に新レポート案まで至らなかった文書については、当該文書サマリー以上の内容（特に技術検討結果の分析や見解）を追加しないことが全体方針として合意された。基本的にはそれぞれの技術検討について、既存業務保護に必要な所要離隔距離やpfd値および干渉低減技術が取りまとめられるとともに、同一地域・同一周波数の共用は困難など、全体で合意できた結論が記載されている。以下、特に議論となった部分について報告する。

・　1452-1492MHzのBSS-IMTについて、IMT保護に必要なBSSのPFD値がAHの結果として記載されていたが、RUS、CHN、IRNなどがIMT保護基準をPFDに変換しただけであり共用検討ではないこと、既存業務のBSSにPFD制限をかけることは議題の対象外であることを主張した。Fなど欧州主管庁がIMT保護のためのBSSのPFD値記載の必要性を主張し記載は残ったが、検討結果について合意が得られていないこと、およびBSSにPFD制限をかけてはならないという見解が記載された。

なお、日本候補帯域では、既存業務との共用、両立については、いくつかの運用条件（離隔距離、基地局タイプ、不要発射レベルなど）は必要なものの、概ね条件によって共用・両立が可能という分析結果となっている。

4.2章の候補周波数帯については、下記の基準に合致した周波数帯を記載することが合意された。

・　基準１：1以上の主管庁が候補帯域として提案していること

・　基準２：JTG4-5-6-7で技術検討が行われた周波数帯

各候補周波数帯については、主に下記の議論があった。

・　3400-3600MHz帯について、WRC-07で解決済みでありWRC-15議題1.1の対象外であるとするRUS、IRN、LUX、CHNなどと、WRC-07では一部の国が脚注特定されただけでありWRC-07後のIMTの技術進展も踏まえ3400-3600MHz帯もWRC-15議題1.1の対象として検討すべきとするJ、F、S、B、USAなどの意見が対立したが、最終的には候補帯域として記載されることとなった。ただし、IRNの提案により、5章のメソッドの理由として、IRNなどの見解が記載された。なお、SはWRC-07のIMT特定条件の一部緩和（RR9.21の除外）の可能性も示唆したが、IRN等がWRC-07の結果を再検討することに強く反対した。

・　5725-5850MHz帯（RLAN候補帯域）については、USAから技術検討が十分でないとの理由で候補帯域からの削除が提案され、いったん削除された。その後、Fから欧州ではRLANの候補として検討を継続しているため候補帯域として記載することが提案され、最終的には候補帯域として記載された。

・　1518-1525/1527MHz帯について、候補帯域として提案している主管庁がないため削除すべきとの意見があったが、会合中Sが1527MHzまでの支持を表明した。ただし、MMSと重複する1525-1527MHzについては、候補帯域として残すことに固執せず、1518-1525MHz帯が記載されることとなった。

以上の議論の結果、候補周波数帯として以下の帯域が記載された。

・　470-694/698 MHz　（IMT）

・　1 350-1 400 MHz　（IMT）

・　1 427-1 452 MHz　（IMT, 日本候補帯域を含む）

・　1 452-1 492 MHz　（IMT, 日本候補帯域を含む）

・　1 492-1 518 MHz　（IMT, 日本候補帯域を含む）
・　1 518-1 525 MHz　（IMT）
・　1 695-1 710 MHz　（IMT）
・　2 700-2 900 MHz　（IMT）
・　3 300-3 400 MHz　（IMT）
・　3 400-3 600 MHz　（IMT, 日本候補帯域）
・　3 600-3 700 MHz　（IMT, 日本候補帯域）
・　3 700-3 800 MHz　（IMT, 日本候補帯域）
・　3 800-4 200 MHz　（IMT, 日本候補帯域）
・　4 400-4 500 MHz　（IMT, 日本候補帯域）
・　4 500-4 800 MHz　（IMT, 日本候補帯域）
・　4 800-4 990 MHz　（IMT, 日本候補帯域を含む）
・　5 350-5 470 MHz　（RLAN）
・　5 725-5 850 MHz　（RLAN）
・　5 925-6 425 MHz　（IMT（屋内利用のみ））

なお、3.2章の共用・両立性検討で検討した周波数帯のうち、候補周波数帯として記載されなかった周波数帯は以下の通りである。

・　1 300-1 350 MHz
・　2 025-2 110 MHz
・　2 200-2 290 MHz
・　2 900-3 100 MHz

5章の議題を満足するメソッドについては、全体（周波数帯によらない）のメソッドとして、前回合意のMethod A：NOC、Method B：移動分配（Table（Method B-ToA）/脚注（Method B-FN））、Method C：IMT特定が維持された。また、4.2章の候補帯域毎に、適用可能なメソッドをマトリックスにした表が記載された。

また、CバンドのFSS関連については、DGCband（議長：V.Poskakukhin氏（ロシア））を設置し詳細議論とCPMテキスト案のドラフティングを行った。

全体のメソッドに加え、周波数帯ごとにMethodA/B/C配下に詳細のオプションを記載することとし、異なる見解がある場合は、View1,View2などで複数の見解を記載することが作業方針として合意された。

また、特にKORが、既に分配されている移動業務に追加制約を課すべきではないとの立場から、分配済み移動業務に適用されている現行の規制（国際調整など）をそのまま適用するオプションが各周波数帯に記載された。

日本の候補帯域に関連する周波数帯についての主なオプションは、以下の通りである。

・　1427-1452MHzについて、1400-1427MHzのEESS（passive）の保護のためのオプ

ションとして、1400-1427MHzの不要発射を義務値として規定（Option C1a）、勧告値として規定（Option C1b）、の2オプションが記載された。

・　1452-1492MHzのBSSについては、技術検討結果をもとにBSSへのPFD制限（[-113dBW/MHz・m2]）を規定する（Option C1）、議題の対象外であるためBSSの規制的事項にいかなる変更も行わない（Option C3）、という2オプションが記載された（Option2はKOR提案現行の規制（国際調整など）をそのまま適用するオプション）。

・　CバンドのFSS関連については、MethodB/Cとも下記オプションが記載された。また、Cバンドについては、IRNの強い主張によりMethodAについては、NOCとするReasonが記載された。（MethodAは全ての帯域に適用。Option3,4は3400-3600MHzのみ、また4500-4800MHzは移動分配があるためMethodCのみでAP30Bのplanも保護対象に含まれることが記載された。）

- Option1：条件なし分配/特定
- Option2：RR Nos. 9.17, 9.18, 9.21, RR Table 21-4 pfd limitsと同様の条件（数値の変更可能性あり）および必要に応じて追加の条件をつけて分配/特定
- Option3：3400-3600MHzの移動分配/IMT特定の既存脚注への国名追加
- Option4：RR Nos. 9.17, 9.18, 9.21, RR Table 21-4 pfd limitsそのまま（数値も）の条件で分配/特定

RLAN（5350-5450/5725-5850MHz）については、共用可能性が示されていないことから、MehtodA（NOC）のみが記載された。

6章の規制的事項については、大きな議論はなく、5章で記載されている一部のオプションについて、規制テキスト案（RR改訂案、WRC決議案など）が記載された。

なお、6章についても、CバンドのFSS関連については、DGCbandで詳細議論とCPMテキスト案のドラフティングが行われた。

（４－２）審議概要(UHF帯の放送業務関連)

〇CPMテキスト3章　IMTと放送の共用検討結果について

放送業務の周波数要求量について、232MHz以上必要とする第1地域のアンケートの結果に基づくレポートITU-R BT.2302は、回章LCCE/78により議題1.2のために収集されたものであり本議題の所掌外と主張するアメリカと、ITU-Rレポート化された時点で議題とは分離しており必要量の根拠として問題無いとするロシア、イランの意見が対立した。結果として両者の意見が併記されて記載されることとなった。

〇CPMテキスト4章　共用検討結果の分析について

GE06内外にセクションを分けて記載した470-694/698MHz共用・両立性検討の結果の章は、Adhoc2、3で合意した新レポート案の離隔距離の記載をそのままコピーすることで合意した。前回会合に我が国より提案した地デジ（ISDB-T）受信機と携帯端末の離隔距離も提案のまま転載され、同一地域での共存は困難であると記載され

た。

○CPMテキスト5章　議題を満足するMethodについて

Method C（IMTへの特定）について、アメリカがDoc.652で提案した既存業務保護のためのSafeguardとして9.21条を適用する案がOption C1として合意された。また、審議の過程でResolution 224を改訂して470-694/698MHzに拡張適用する案が提案されたが、オフラインでアルゼンチン、EBU、オーストラリア、日本などが協議した結果、Option C1で、十分放送業務が保護されるとしてOption追加はされないこととなった。

### 3.1.2　SWG1.2（議題1.2 CPM Text 作成）

#### 3.1.2.1 SWG1.2 WRC-15議題1.2のCPMテキスト

（1）入力文書:

4-5-6-7/584（Annex4：議長レポート）、4-5-6-7/587（イギリス、 CEPT）、595（WP 5D）、602（フランス）、612（ロシア）、614（ロシア）、615（ロシア）、616（ロシア）、621（ロシア）、623（ドイツ）、670（EBU）、671（EBU）、686（スウェーデン他）、690（南アフリカ他）、693（ポーランド他）、708（UAE他）、709（UAE他）、711（UAE）

前回会合からのキャリーフォワード文書：4-5-6-7/507（オーストリア、 ドイツ）、 524（EBU）、 530（イラン）

（２）出力文書：Doc.4-5-6-7/TEMP/169

（３）出席者：イギリス、フランス、ロシア、ドイツ、オランダ、スウェーデン、スイス、イラン、UAE、エジプト、オマーン、南アフリカ、ジンバブエ、アメリカ、韓国、EBU、ZDF等　約300名

（４）審議概要

SWG1.2のタスクはWRC議題1.2に関するCPMテキスト案の作成であり、Issue A: 周波数下限、Issue B: BS、Issue C: ARNS、Issue D: SAB/SAPを扱った。今会合では、計15回のセッションを実施し、議長はフランスのJ. CARRASCOSA氏が担当した。前回までの議論を反映した議長レポート4-5-6-7/584（Annex4）をスタートラインに議論を進行した。以下は各章の主な議論である。

#### 3.1.2.2 1章 Executive summary、2章 Backgroundについて

・1章はExecutive summary として特定の見解を含まず、各章の概要を列記した。

・2章のMSのチャンネルアレンジメントについて、ベースラインの2x30 MHz FDD （UL: 703-733 MHz、DL: 758-788 MHz）の他に、WP5Dから回答のあった2x5 MHz FDD （UL: 698-703 MHz、DL: 753-758 MHz）の扱いについて議論となった。JTGで合意していた9MHzのガードバンドを確保できないことによる放送保護への懸念（ロシア）や、この利用方法が、WRC-15議題1.3のPPDRであり議題1.2の所掌外であることの主張（イギリス）、WP5Dの回

答を尊重するべきとの主張（UAE）などが主な論点となったが、結果として2つのViewを併記することとなった。View1は2x5 MHz FDDを含む記述、View2は前記View1がITU-Rで未検討であり、議題1.2の所掌外とする内容である。

#### 3.1.2.3 3章 共用検討結果のまとめ、4章検討結果の分析について

・3.1章の周波数要求条件では、放送の周波数要求条件として、各国へのアンケートに基づく結果の表が記載され、またこの結果に基づき周波数下限は694MHzとするべきとの内容を記載することで合意した。

・IMTの周波数要求に関し、WP5DのLSの「96MHz以上が必要」との内容について議題1.2に関連する周波数帯を特定した明確な量が明示されておらず、この帯域では研究が行われていないとロシアが主張した。その他UAE、アメリカ、イランなどの提案によるテキスト内容の追加、修正議論が行われたが、最終的にオフライン協議にて「IMTの周波数要求は周波数の総量にのみフォーカスされており、第一地域の694-790MHzに関する研究は実施されていない」との内容で合意した。

・4.1.2章の放送との隣接チャンネル検討の結果に基づくOOBE値の記載内容ついて、-25dBm/8MHz、 -42dBm/8MHz、 -56dBm/8MHzの複数の値が提案され議論となった。それぞれの主な支持国は、-52dBm/8MHz（ロシア）、-42dBm/8MHz（CEPT各国）、-25dBm/8MHz（UAE他中東諸国、アフリカ諸国）。関係国の間でのオフライン協議などの結果、共通の値には合意していないとの内容が記載された。また10MHzより広い帯域幅の場合の表現について、ロシア、イラン、NDR、ドイツ（以上主に放送保護の立場）スウェーデン、UAE（以上主にIMT分配支持の立場）の間でオフライン協議が行われ、713MHzから始まる10MH帯域幅より広いチャンネリングでは、694MHz以下でのOOBEが低減するとのViewの記載で合意した。また、放送保護の条件によって、異なるOOBE制限値が適用されることもあるとのテキストが加えられた。

・4.2.1章のARNSとの両立性検討結果についてはロシアとスウェーデン他の検討結果について互いに議論を行ったが、合意に達しなかったため、ロシアの提案により「どの検討結果も合意に達していない」との文言を加えることとなった。

#### 3.1.2.4 5章 議題を満足するMethods

・Issue A

RR No. 5.317Aの第一地域のIMT特定周波数下限を694MHzまでとすることで合意した。

・Issue B

Method B1（GE06合意を適用）については、チャンネルアレンジメントを記載するかでUAEその他の国で議論となり、チャンネリングアレンジメントの記載は最終的には削除した。またVIEWについてロシア（Doc614：このMethodは両立できない）とUAE（Doc708：離隔距離は小さくNational Matterである）の2案を2国でオフライン協議し、「支持」と

「不支持」 の2つのViewが記載された。Method B3についても同様に複数の国からのViewの追加提案があったが、指示、不支持の2つに集約して記載された。

・Issue C

DG　ARNSにて合意した文書をベースとし、本SWGレベルではエディトリアルな修正のみで合意した。

・Issue D

5.4章では、EBUはラジオマイクについて大きなインパクトがあり、解決策として新たな周波数を特定することを次のWRC議題とする提案なども出された。オランダとドイツもSAB/SAPは成長している業務であり、将来にわたってサービスを継続できるようにするべきとした。韓国は自国では既に周波数が割り当てられており、これらの新しい周波数の議論は第一地域に限定するべきとした。フランスは新しい周波数が必要という記述はMethodではなく議論の結果ではないかと述べ、ロシア、イランが支持した。これら関係国でオフライン協議を行い作成されたMethod D1、 D2では脚注5.296の周波数を470-694MHzに制限（現状790MHzまで）する内容が含まれた。また、6章のconsideringとしてITU-R Resolusion59 (ENG)に基づく研究課題であると記述することで合意した。

### 3.2　Ad-Hoc1（候補周波数帯に関する見解の取りまとめ）

（１）入力文書：4-5-6-7/584 Annex 9(JTG議長報告),585（WMO）,594（ﾆｶﾗｸﾞｱ),599(IMO),611(Arabsat),627(日),655(WMO),681(YahSat他),685(伊),706(ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ)

（２）出力文書：4-5-6-7/TEMP168(各国見解集計表)

（３）出席者：中、露、豪、スウェーデン、ジンバブエ、日本、GSMA、SES、IMO等から約20名。

（４）審議概要：

入力に基づき、候補周波数帯に関する各国・団体の見解をまとめた表を更新したもの(Doc.4-5-6-7/584 Annex9の更新版)を議長が提示し、正しく更新されていることを確認した。また、GSMAより前回のGSMAの入力(Doc.549)に対して行われた議論に基づき、これに関するGSMAの見解(技術の進展により天候等による不稼働率は、CバンドとKu､Kaバンドで大きくは変わらない。JTGで行った検討は同様の条件ではReport M.2109と同様の結果であるが、異なる条件下では共用は可能等)を表に追加したいとの発言があり、異論なく追加することとした。その他、JTGが今会合で最終であること等によるEditorialな修正を前文等に対して行い、Doc.4-5-6-7/584 Annex9の更新版(TEMP/168)を作成した。Plenaryでは、本文章は情報としてJTG議長報告に添付することが確認された。

### 3.3　Ad-Hoc2（議題1.1における放送業務との共用検討レポート）

（１）入力文書：4-5-6-7/584（Annex 11, Att. 1）（JTG議長）、584（Rev.1, Annex 5,

Att. 4) （JTG議長）、617（ロシア）、635（フランス）、648（NABA）、669（EBU）
（２）出力文書：Doc.4-5-6-7/TEMP/149、150
（３）出席者： アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン、ロシア、イラン、アルゼンチン、韓国、中国、EBU、NABA、クアルコム、日本などの約70名であった。
（４）審議概要：
・Adhoc2のタスクは、2つの共用検討レポート（470-694MHzおよび1452-1492MHz）を完成させることであり、合計4回の会合を実施した。議長はアメリカのA.Sanders女史が担当した。
・470-694MHzの共用検討レポートについては、前回のJTG会合でDN Reportとして承認されているため、リファレンスの更新および、CPMに基づくconclusionsの追加を行うことの2点のみの作業を行った。NABAの寄与文書(4-5-6-7/648)はExecutive summaryを追加しており、アメリカは前回のJTG4-5-6-7会合で既にDN Reportとして承認されているため、Re-openされる意義が不明と主張した。その後、NABAとオフラインの議論により、NABAの寄与文書のうちEditorialと認められない部分はAdHoc2のタスク外であることを確認した。
・1452-1492MHzの共用検討レポートについては、フランス主導でエディトリアル修正等の作業を進めた。
・以下のレポートについては、DNReportとして承認され、SGへ送付されることとなった。
- ITU-R BT.[MBB_DTTB_470_694] (Doc.4-5-6-7/TEMP/149)
- ITU-R BS.[BS_IMT] (Doc.4-5-6-7/TEMP/150)

### 3.4　Ad-Hoc3（議題1.2における放送業務との共用検討レポート）

（１）入力文書:4-5-6-7/584(Rev.1, Annex 5, Attachment 1,2)(JTG議長), 595 (WP5D), 603（フランス）, 613（ロシア）, 646(韓国）, 673 (EBU) , 691（レソト他）
（２）出力文書：Doc.4-5-6-7/TEMP/159,160,161,162
（３）出席者： アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン、スロシア、イラン、アルゼンチン、韓国、中国、EBU、NABA、クアルコム、日本などの約70名であった。
（４）審議概要：
Adhoc3のタスクは、議題1.2の共用・両立性検討に関するレポートの検討、累積干渉に関する勧告またはレポートの検討、帯域外輻射に関する検討であり、計4回の会合が行われた。議長はドイツのR.Beutler氏が担当した。第1回のセッションで、Doc.673(EBU)提案により、共用・両立性検討のレポートは、審議の進捗度合いが異なる同一チャンネルと隣接チャンネルを二つのレポートに分離し、同一チャンネルについては、今会合でレポート化を進める事を合意した。

### 3.4.1 同一チャンネルの共用・両立性検討のレポート

・同一チャンネルにおけるIMTと放送の共用・両立性検討のレポートは、Executive Summaryをフランス、イラン、ロシアなどがオフラインで案を作成してAdhocに提案し、合意された。それ以外の本文は、前回会合で十分議論が行われたとして今会合では特段審議は行われなかった。プレナリに送付され、担当SG送付が承認された。

### 3.4.2 隣接チャンネルの共用・両立性検討のレポート

・隣接チャンネルの検討について議長は、審議時間が不足していることから作業文書として議長レポート添付を提案し、UAE、フランス、ドイツが支持した。ロシアは、レポート作成を継続すべきと主張したが、最終的には議長レポート添付で合意された。ロシアは、隣接する他の帯域での経験についての入力があるが、これは技術検討ではないため、議長レポート添付にしても削除すべきと主張した。

・フランスは、仏は、5.2.3の仏の新提案をCPMテキストへ置換することを提案したが、ロシアが反対。ロシアは、レポートができない場合のCPMテキストへの記載について質問。議長は、レポートを作ることがJTGの目的ではないので、技術検討結果がPublishされなくてもテキストの記載は可能との考えを示した。

### 3.4.3 IMTからの累積干渉の放送業務への影響に関する検討

・前回会合にオマーンが提案した累積干渉に関する新勧告作成の提案は、CGを設置して継続検討することとなり、今回会合にCGからのレポートが入力され、Adhoc3で検討が開始された。

・Doc.672（EBU）の寄書に対し、フランスは、単一干渉の調整しきい値で放送保護に足りると主張して反対し、UAEもフランスを支持した。ロシアは、累積干渉の考慮が必要として、CGでの検討結果を支持した。イギリスは、一般的な干渉評価手法として有益であるが、実際の調整への適用には、GE06合意の変更につながる懸念があると発言。イランは技術的な内容には異論はないとしたが、SG6で議論されるべきとの見解を示した。議長は、LSをSG6へ送付することを提案したが、UAEは、IMTに関連することであるためSG5へも送付するべきと発言した。ロシアは、共用検討はPrimary responsibilityのあるSGのみに送付すべき（具体的にはSG6 or WP6A）、LSを送付するのであれば時間節約のため、このPDNRの作業をこれ以上行わないのがよいと発言し、議長も支持した。ドイツはConcerned partyに送付することを提案。アメリカは、必要があればメンバーが寄与すればよいのでLS送付自体が不要と発言。SG6副議長（オーストラリア）は、JTGからPDNRを送付しただけでは十分な検討が行われない懸念があるのでSG6へ直接寄与するべきと述べた。議長は、このJTGで合意できなかったとしても議長レポートには添付されるため情報が失われるわけではないことを補足した。イギリスは　GE06の特定セクションを変更することになるためLS送付に反対したがWP6Aに直接主管庁が入力し、累積干渉の物理現象として検討することは許容すると発言した。議論は収束せず、LSは送付されないこととなった。

### 3.4.4 IMTから放送への帯域外干渉レベルに関する検討

・第一地域の694MHz以下の放送保護のためのIMTのOOBE値についての新勧告草案について、Adhoc3配下にドラフティンググループを設置し審議を行った。議長はドイツのAlexander　Khon氏が担当した。

・主要な議論は、OOBEの記載方法とチャンネリングアレンジメントの記載方法で、OOBEは、-56dBm/8MHz（ロシア）、-42dBm/8MHz（CEPT各国）、-25dBm/8MHz（UAE他中東、アフリカ各国）の3つの値が対立した。チャンネリングアレンジメントでは WP5DとUAEが,698-703MHzのSpecial Applicationとしての利用方法を提案したが、イギリスは、この利用方法はPPDRであり、議題1.2の所掌外であると強く反発した。さらにCEPT各国は、WP5Dへはガードバンド（GB）9MHzを考慮したチャンネリングアレンジメントをLSで要請したにもかかわらずGBが考慮されていない回答が含まれていたため、この部分を勧告本文へ記載することに強く反発した。OOBEの値は、recommends部ではなくrecognizing部に記載するなどの妥協案で合意した部分もあり、最終プレナリでも以下の審議が行われた。

・ロシアは、本文書には、既存業務を保護するために必要な重要な項目であるGBとUEの出力の記載が含まれていない。また、OOBE値の結論は出ていないためDN RECOMMENDATIONとして昇格させることに同意できない、今後、WP5DおよびWP6Aのjoint activityで検討したいと主張した。

・フランスは、議題1.2のMethod B1に含まれる重要な勧告であり、調和を無視してOOBE値を採用すると、既存放送業務に無理を強いることになるとして、SG5と、（場合によってはSG6にも）DNRとして送付することを支持した。ジンバブエ、南アフリカはSG5、SG6に送ることは問題ないとコメントした。フランス等の意向として、SGに送付すれば、反対があってもResolution 1の規程に従い、WRC関連事項はRAに送付することで解決できるとの考えを示した。イランはフランスの提案に懸念を示し、JTG4-5-6-7はWPレベルであり、Resolution　1に記載のあるとおり、RAに直接送付できるのはSGレベルであるとコメントし、JTGからRAへの直接送付はできないと反論した。さらにSGへ送付する前提として本会合で全体のコンセンサスが必要であることを強調した。

・フランスは、WP/JTGからSG送付への条件としてunanimous agreementが必要とまでは規定されていないと応じた。

・ロシアは、第2回プレナリにおいて、作業文書のステータスであったものが、最終プレナリにおける再提出でPDNRとなっており、さらにDNRへの昇格を求めている点に懸念を示しし、2段階の昇格に反対した。さらに議長レポート添付となった場合は、作業文書のステータスに戻すべきと議長に明確化を求めた。

　議長は、議論が収束しないことから、DNR昇格、SG送付は行わず、再度議長レポート添付とすることとなった。

・以下のレポートについては、DNReportとして承認され、SGへ送付されることとなった。

- ITU-R新レポート[IMT_DTTB_694-790-CO-CHANNEL] (Doc.4-5-6-7/TEMP/159)

### 3.5　Ad-Hoc4 (航空移動業務との共用検討に関するレポート案の作成)

（１）入力文書：

- 第一地域の694-790MHzにおける移動業務とARNSとの共存検討（WRC-15 議題1.2向け）：4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 2), 615（ロシア）, 678（GSMA）, 686（フィンランド他）, 687（フィンランド他）
- 1 429-1 535 MHzにおける航空テレメトリシステムとの検討（WRC-15 議題1.1向け）：4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 6), 636（フランス）, 637（フランス）, 639（ブラジル）, 678（GSMA）, 703（リトアニア）
- 4 400-4 990 MHzにおける航空移動業務との検討：4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 11), 649（米国）

（２）出力文書：4-5-6-7/TEMP/165(Rev.1), 166, 167

（３）出席者： フランス、ロシア、米国、ブラジル、中国、など約50名

（４）審議概要：

- 前回会合までに作成されていた、「第一地域の694-790MHzにおける移動業務とARNSとの共存検討」（WRC-15 議題1.2向け）に関する作業文書は、関連の入力文書があり更新作業を行ったが、ステータスは作業文書のままとし、JTG議長報告に添付することにした（→ **TEMP/167**）
- 前回会合までに作成されていた、「1 429-1 535 MHzにおける航空テレメトリシステムとの検討」（WRC-15議題 1.1向け）に関する暫定新レポート案は、関連の入力文書に基づいて更新作業を行い、新レポート案としてStudy Group 5へ送ることが合意された（→ **TEMP/165(Rev.1)**）。
  - Annex 4の検討（米国の検討）に対して、4-5-6-7/678（GSMA）からコメントがあり、米国⇔GSMAとのオフライン調整の結果に基づいて、修正が反映された。
  - Annex 6の検討（ブラジルの検討）に対して、4-5-6-7/639（ブラジル）に基づき、記載の明確化の修正提案があり、反映された。
  - 4-5-6-7/637（フランス）において、新たな検討結果の入力があり、Annex 7として反映された。
  - 4-5-6-7/703（リトアニア）において、新たな検討結果の入力があり、Annex 8として反映された。
  - 以上のAnnex の修正に基づいて、レポート案本体の関連個所の修正も実施された。また、4-5-6-7/636（フランス）の検討結果については、別の周波数帯（2.3-2.4GHz帯）を対象にした検討であったため、レポート本体の結論部分の記載を一部修正だけにとどめることとした。
  - なお、第3回プレナリ―会合に対して、AdHoc 4で作成されたTEMP/165が提出さ

れ、審議されたが、①Annex の修正に伴い、レポート本体部分の一部更新漏れがあったこと、②結論部分の一部記載に疑義が示されたことから、再検討陽が要請され、非公式会合での調整を経てTEMP/165(Rev.1)が作成され、第4回プレナリ―会合でStudy Group 5へ送ることが合意された。

- 前回会合までに作成されていた、「4 400-4 990 MHzにおける航空移動業務との検討」（WRC-15議題 1.1向け）に関する暫定新レポート案は、4-5-6-7/649（米国）に基づいて更新作業を行ったが、結論部分の取りまとめで米国、中国との間の調整がつかず、ステータスは暫定新レポート案のままとし、JTG議長報告に添付することにした（→ **TEMP/166**）

### 3.6　Ad-Hoc5 (固定業務と移動業務との共用検討に関するレポート案の作成)

（１）入力文書：4-5-6-7/584 Attachment 1, 4, 10, 12, 15 to Annex 6, 650（米国）, 653（中国）, 679（GSMA）

（２）出力文書：4-5-6-7/TEMP/144, 152, 153, 154, 155

（３）出席者： 米国、中国、ロシア、英国、フランス、日本など約15名

（４）審議概要：

- 前回会合までに作成された、暫定新レポート案ITU-R F.[IMT 1 350-1 530 MHz CO-CHANNEL SHARING]の作業文書に記載のGSMAの検討について、GSMAよりさらなる入力があったため、アップデート作業を行った。以下の修正を施すことで、新レポート案として関連Study Groupへ送ることが承認された（**→TEMP/144**）。
  - ロシアからの意見として「IMTと固定業務のPoint-to-pointシステムのアンテナは屋根以上の高さにあることから、20 dBのクラッタ損失の追加は不要である場合もある」ことと、英国からの意見として「固定業務局の配置は国によって変わってくるため、IMTと、固定業務局との離隔距離も国によって違ってくる」との記載を4章（サマリ）の部分に追加した。
- 前回会合までに作成された、暫定新レポート案ITU-R F.[IMT 4 400-4 990 MHZ SHARING AND COMPATIBILITY]の作業文書には、中国、ロシア、米国の前回会合までの検討について記載されており、中国と米国の検討について、それぞれの主管庁より入力があったため、アップデート作業を行った。主に以下の議論があったが、最終的には新レポート案として関連Study Groupへ送ることが承認された。
  （**→TEMP/155**）。
  - 米国のコチャンネル共用の検討結果について、「保守的な条件の下で行われたものであるため、離隔距離が非常に大きくなっており、それはむしろ調整距離として扱うことができる」との記載の追加を日本が提案したが、ロシアから、全体の検討結果のサマリのように取れるので、米国の検討結果の記載箇所から削除すべきとの議論となり、審議の結果、元文書にあった「固定業務は世界の

至る所で導入されるので、大きな離隔距離とexclusion zoneが必要である」という記載と共に削除することとなった。

- 同じく米国のコチャンネル共用の検討結果について、中国がFSとIMTのコチャンネル共用の累積干渉について、干渉の見積もり過ぎではないか（1局からの干渉に比べて数十倍）と疑義を示したが、解析条件や結果の記載の一部を明確化することで最終的に新レポート案とすることが承認された。

- 前回会合までに作成した以下の3つの文書については、エディトリアル修正を施し、新レポート案として関連Study Groupへ送ることが承認された。
  - 暫定新レポート案ITU-R F.[IMT 470-694/8 MHz SHARING]（→TEMP/152）
  - 暫定新レポート案ITU-R F.[IMT 3 400-4 200 MHz SHARING]（→TEMP/154）
  - 暫定新レポート案ITU-R F.[IMT 5 925-6 425 MHz SHARING]（→TEMP/153）

### 3.7　Ad-Hoc6 (レーダ)

（１）入力文書：JTG4-5-6-7/584 Annex 6 Attachment 3,7,8,9(JTG 議長報告)、619(露)、640(ﾌﾞﾗｼﾞﾙ)、656,657(英)、674,676(ﾃﾙｽﾄﾗ)、677,678,680(GSMA)、688(ｽｳｪｰﾃﾞﾝ)、712(ｱﾙｶﾃﾙ他)

（２）出力文書：

TEMP146(2900-3100MHz の IMT の使用に関するﾚｰﾀﾞへのｲﾝﾊﾟｸﾄに関する報告案に向けた作業文章)

TEMP147(1300-1400MHz の IMT の使用に関するﾚｰﾀﾞへのｲﾝﾊﾟｸﾄに関する報告案に向けた作業文章)

TEMP148(2700-2900MHz の IMT の使用に関するﾚｰﾀﾞへのｲﾝﾊﾟｸﾄに関する報告案に向けた作業文章)

TEMP157(WRC-15 議題 1.1 に向けた 3300-3400MHz における屋内の IMT とレーダの共用に関する Preliminary 新報告案)

（３）出席者：米、英、露、仏、独、豪、中、スウェーデン、ブラジル、GSMA、テルストラ他

（４）審議概要：

1300-1400MHz,2700-2900MHz,2900-3100MHz,3300-3400MHz におけるレーダと IMT との共用検討が進められたが、報告案としては合意できなかった。

### 3.8　Ad-Hoc7 (無線 LAN とレーダとの共用)

（１）入力文書：JTG4-5-6-7/590(WP5B), 591(WP5A), 601(フランス), 604(フランス), 622(ドイツ), 631(UK), 659(EU), 660(EU), 682(イタリア), 705(USA), 707(USA)

（２）出力文書：JTG4-5-6-7/TEMP156

（３）出席者：USA、カナダ、UK、イタリア、ドイツ、スエーデン、フィンランド、フランス、ロシア、日本、インテル、EU から約 30 名であった。
（４） 審議概要：

- 前会合で議長報告添付された JTG4-5-6-7/584 (Annex06-Part03-Att.13)「レポート草案 M.[5 350 MHz AERO]」及び JTG4-5-6-7/584 (Annex06-Part03-Att.14)「レポート草案 M.[RLAN5GHZ.SHAR]」が、レポート草案 M.[RLAN5GHz.SHAR]に向けた作業文書として 1 つにまとめられた。今会合における寄書 2 件がこの作業文書の添付文書として追加され、添付文書数は合計 9 件となった。
- 今会合で大きな議論となったのは各寄書をコンパイルしたカバーページのタイトルと内容であった。議長から提案されたタイトルには、5350-5470MHz 帯が含まれていたが、5725-5850MHz 帯が含まれていなかった。そのため、欧州各国からは添付されている寄書は 5725-5850MHz 帯の検討結果が含まれているために作業文書のタイトルにも入れるべきであり、さらに検討に用いた 5725-5850MHz 帯の無線 LAN の特性は 5350-5470MHz 帯から類推できるので、その結果も有効であることが主張された。一方、US からは CG で集められたパラメータは JTG としては合意された値ではないために、この数値を用いた共用検討結果は単なる情報でしかないために 5350-5470 MHz 帯にフォーカスした作業文書とするべきであること、さらに SWG1.1 で確認された候補周波数としての条件(1 つ以上の主管庁の支持があ、かつ共用検討が行われていること)を取り上げ、合意されていない数値を用いた検討結果自体は共用検討の定義に入っていないので、候補周波数としては対象外と考えられために、したがってタイトルには入れるべきではないことが主張された。その結果、議長提案のタイトルを残すこととして、脚注が追加された。その内容は、「53550-5470 MHz 帯の検討結果は、5725-5850 MHz 帯に拡張できる点を示した寄書が入力されたが、一方では 5725-5850 MHz 帯の RLAN パラメータにつては合意されておらず、さらに 5350-5470 MHz 帯で合意された RLAN パラメータは 5725-5850 MHz 帯には適用できないために、それらの結果に対する懸念がある。また 5725-5850 MHz は ISM バンド内であるために共用環境は異なっている。したがって、本文書の結論については合意が得られていない」であった。
- 議長提案のカバーページの内容は新たに編集され、決議 229 による 5150-5350 MHz 帯、及び 5470-5725 MHz 帯の規制では、5350-5470 MHz 帯のレーダを保護することができないこと、干渉を軽減するための技術が検討されたがその効果については意見が一致しなかったこと、軽減技術のさらなる検討が無線測位業務保護のために必要であること等が追加された。

### 3.9 Ad-Hoc8 (L-band BSS との共用)

（１）入力文書：JTG4-5-6-7/584(第５回会合 JTG4-5-6-7議長報告, Annex 7, Att.1),

618(ロシア)
（２）出力文書：JTG4-5-6-7/TEMP157
（３）出席者：カナダ、オーストラリア、イラン、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、フランス、ロシア、日本、中国、チェコ、BR セクレタリーから、最大約30名であった。
（４）　審議概要：
・　ロシアが前回会合で、L帯における地上IMTシステムとBSS(sound)システム間の共用・両立性検討に不足しているとして指摘した、所要離隔距離等の両立条件について検討した、地上IMTシステムからBSS(sound)システムの受信地球局への干渉検討に関し、ロシアから今会合に入力された寄書、及び1452-1492MHz帯における両システム間の共用・両立性検討に関するPDN Reportを目指す作業文書を審議した。
　ロシアが総合干渉の有無について検討した、隣国のIMT基地局からBSSサービスエリア端のBSS地球局の保護に必要なpfd値、ならびに、これまでの技術検討結果であるBSS衛星からIMTシステムへの干渉におけるIMT移動局及び基地局保護のためのpfd値について、AH8レベルの審議では未合意となった。当該審議文書は、議長報告にノートとして添付された。
・　また、L帯BSSシステムとIMTシステム間の共用・両立性検討に係る作業文書のサマリーには、技術的検討状況を反映した次の内容とした。
　①同一周波数帯、同一地域における共用は不可能なこと。
　　（これは、中国の技術検討により、技術パラメータに基づき、IMTを保護する最大許容pfdレベルを通じて表現された干渉規定は、BSSカバリッジエリアにおいて大きく超過する結果。従って、BSSとIMTの間の関係が同一周波数、同一カバリッジの共用は不可能。）
　②隣接国間における同一周波数帯での検討の研究はあること、
　③同一国内あるいは隣接国間における隣接帯関係における共用及び両立性については未検討。
○制度関係の議論
・　当該AHでは、技術的議論だけでなく、制度面についての議論もすると議長の意向が示された。
・　当該作業文書の背景のセクションに、BSSに関係する重要な規定として、脚注5.345, No. 9.11（地上システム間の調整に係る条文）, Appendix 5, No. 9.19、決議507「BSS関連計画及び合意の確立」、及び決議528「1-3GHzの範囲内に割当てられた帯域におけるBSS(sound)システム及び補足する地上放送の導入」（当該決議をコピーして、ファクトベースの情報として追記）を列挙した。
・　中国は、決議233で既存業務の保護が示されているので、pfd制限の方法を設けることの必要性が不明とした。pfd制限値の導入は非常に難しい問題であり、2国間の問題

とすればいいとしてpfdの方法は難しいとの意見。

・　イランから、重要な点として、BSSは計画されていることなので、決議507をどうするかが一つの論点とした。2003年に衛星からのe.i.r.p.を7dB増やした結果、既存業務に制約を与え過ぎることになった。更に制約を加えるのかと論点を提起。

・　BSSの現状として、当該帯域におけるIMTシステムを日本では運用中、CEPTは使用予定。

　既に日本がIMTを使っていて問題ないなら、今、pfd制限を設けることの要否が議論になり得るとする意見がイランからあった。この意見の背景には、RRで規定を設けると、急に申請が増加するといった問題が現実に起こり得るという指摘があった。

・　長年BSS(sound)用帯域が使用されてないなら周波数有効利用を図るべきといった意見（フィンランド）もあった。

・　RRの議論をしているので、IMTのpossible identificationを考えるなら、BSS地球局に干渉を与えないように検討する必要性をコメント（ロシア）。

○　前回JTG会合までに日本が入力したIMTシステム保護のためのBSS衛星に対する技術条件（WRC-07で審議された2.6GHz帯BSS(sound)とIMT-2000間の同一周波数共用とpfd閾値検討で使用されたパラメータで、BSS宇宙局からIMTを保護するために使用された干渉規定を踏まえ、L帯に適用した検討）について、ロシアから未検討だとのコメントがあったが、日本が補足情報提出し、説明した結果、導出されたpfd値の根拠がロシアにより了解され、作業文書内の当該日本の検討は議論したものとしてロシアが認知し、AH-8としても了承された。

### 3.10　Ad-Hoc9 (L-band MSS との共用)

（１）入力文書：JTG4-5-6-7/584(第５回会合 JTG4-5-6-7議長報告, Annex 7, Att.2), 699（Inmarsat, Thuraya）

（２）出力文書：JTG4-5-6-7/TEMP151,163

（３）出席者：オーストラリア、ブラジル、USA、UK、イタリア、スウェーデン、フランス、スペイン、日本、GSMA、テレストラ、SES、から最大で約40名であった。

（４）　審議概要：

　インマルサットが今会合に初めて入力した、L帯におけるIMTシステムとMSSシステム間の共用･両立性検討を審議した。審議においては、検討に使用したパラメータの適否、検討において考慮すべきパラメータの不足、及びこのような寄与文書の提出時期の問題点が、複数のIMT関係者から多数の項目について指摘された。当該文書のDraft New Report化、ならびに当該干渉シナリオに係るCPMテキスト案への追加に係る詳細審議に進む前の段階で、今回のJTG会合で議論すべき内容との比較から、審議の継続が不適とされた。

　結局、MSSシステムとIMTシステムの共用あるいは両立性検討の枠組みを示す作業文書

を同一周波数帯（1 518-1 559 MHz, 1 626.5-1 660.5 MHz and 1 668-1 675 MHz）と隣接周波数帯（IMT(1518MHz以下)とMSS(1518-1559MHz)）のそれぞれについて作成し、議長報告にノートとして添付された。

### 3.11　Ad-Hoc10 (1.4GHz 帯の地球探査衛星業務関連)

（１）入力文書：4-5-6-7/584 Attachment 1 to Annex 8, 625（日本）, 638（ブラジル）, 667（ESA）

（２）出力文書：4-5-6-7/TEMP/145

（３）出席者： 米国、ブラジル、ESA、フランス、日本など約20名

（４）審議概要：

- 暫定新レポート案ITU-R RS.[EESS 1.4GHz]をAH10（議長：G. Feldhake氏（米国））で議論し、新レポート案として関連Study Groupへ送ることが承認された（→TEMP/145）。
- 新レポート案の主な結論は以下の通りである。
  - 1400-1427MHz の EESS（受動）保護のために必要な IMT 基地局不要発射レベルは-75 dBW/27MHz（片側特定）、-80dBW/27MHz（両側特定）。
  - 1400-1427MHz の EESS（受動）保護のために必要な IMT 移動機不要発射レベルは-65 dBW/27MHz（片側/両側特定）。
  - 1400-1427MHz の EESS（受動）保護を規定した現在の決議 750 の不要発射レベルは、移動機のみを想定して検討された-60 dBW/27MHz であり、見直しが必要である。
  - 現在の 3GPP の規定では、上記所要不要発射レベルを満足していない。
  - 実際の移動機の不要発射測定値から、移動機送信電力やガードバンドによって、実力値では満足している。
- 主な議論と、前回からの変更点は以下の通りである。
  - 移動機不要発射レベル-65dBW/27MHzに[移動機送信電力が15dBmの時]という未確定記載が残っていたが、日本提案に沿って[ ]の部分を削除。
  - 実際の移動機の不要発射レベル測定値について、移動機送信電力が15dBmの測定値を日本が追加提案し反映。
  - ブラジルからDoc.638にて、前回までの前提条件が適切ではないという認識のもと、全く新しい前提条件での両立性検討結果（決議750を変更する必要はない）が提案された。ブラジル、ESA、日本がオフラインで議論した結果、ブラジルは前回までの前提条件が概ね適切であることに同意するとともに、Doc.638の提案を出力文書に反映しないことに合意した。ただし、ブラジルからの提案により、前提条件等の明確化（基地局アンテナ指向性減衰量の考え方や、端末密度の説明など）の説明を加えることがブラジル、ESA、日本で合意された。

### 3.12　Ad-Hoc11 (無線 LAN と EESS(能動)との共用)

（１）入力文書：

- 一般：JTG4-5-6-7/588(Chairman, JTG4-5-6-7), 589(Chairman, JTG4-5-6-7), 655(WMO)
- 軽減技術:JTG4-5-6-7/586(WP7C), 591(WP5A), 605(フランス), 606(フランス), 607(フランス), 624(カナダ), 632(UK), 633(UK), 659(EU)
- 共用検討：JTG4-5-6-7/609(フランス), 624(カナダ), 632(UK), 664(ESA), 704(USA)
- レポート草案 RS.[EESS RLAN 5 GHz]:JTG4-5-6-7/600(フランス), 624(カナダ), 632(UK), 665(ESA), 704(USA)

（２）出力文書：4-5-6-7/TEMP164

（３）出席者：USA、カナダ、UK、イタリア、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、フランス、ロシア、日本、ESA、インテル、EU、モトローラから約 60 名であった。

（４） 審議概要：

- 前会合で議長報告添付された JTG4-5-6-7/584 (Annex08-Att.2)「レポート草案 RS.[EESS RLAN 5 GHz]」に添付されていた文書は全て今回の寄書に変更され、さらにセクション毎に編集が行われた。
- 米国は上記文書において、第 1 節に記載の、「本レポートは 5460-5470 MHz 帯における RLAN システムト EESS(能動)の両立性を確保するため、可能性のある干渉緩和技術についても評価を行った。」という記載の「可能性のある干渉緩和技術についても評価を行った」という部分の削除提案があり合意された。
- 第 2 節の技術パラメータでは、3 つのオプションが併記されていたアンテナパターンの US が提案したオプション A2(仰角方向に指向性を持たせたパターン)は US から取り下げの意向があったため削除された。カナダ、フランス等からの寄書ではこのパラメータを使って評価した結果の寄書が入力されていたために各国から批判が出され。した。
- 第 2.3 節(干渉軽減要因)の動的周波数選択(DFS)の節は全面的に変更され、現状の DFS 技術では干渉を回避できないこと、DFS パラメータの変更(タイミングと検出閾値)が 5350-5470MHz 帯における EESS（能動）との共用を可能にするかどうかについて合意されなかったこと、特定の DFS パラメータの変更が EESS(能動)との共用を可能にするか、EESS(能動)パラメータ(ビームのダイナミクス等)を考慮した更なる研究を行う必要があること等の議論が行われ、これらの文言が追加された。
- DFS 以外の干渉軽減技術については、(1)検討が行われたが効果がないこと見なした干渉軽減技術(合成開口レーダ用イメージ後処理技術、EIRP マスク)、(2)初期検討において結論が出ずにさらなる検討が行われている干渉軽減技術(位置情報データベ

ース、別のチャンネルプラン、チャンネル選択優先化アルゴリズム、EIRP の低減化)に分類された。

- 第 3 節の解析結果では、5 つの結果(US, UK, ESA, フランス、カナダ)が表としてまとめられていたが、解析結果毎にテキストを作成し、必要に応じてそれぞれの結果説明用に表を作成することが合意された。
- 第 4 節の結論も全面的に修正され、第 2 節に記載の RLAN パラメータを用いた場合、5350-5470 MHz 帯において、RLAN と EESS(能動)の共用は不可であり、RLAN の干渉低減技術が追加で導入された場合は共用が可能となる場合もある。2 つの検討された干渉緩和技術は適切ではなく、他の技術の適用性については合意が得られなかったことが追加された。さらにフランスから「いくつかの軽減技術、さらにはそれらの組み合わせによる技術を導入しても共用は実現可能ではないため、さらなる検討は不要であるとの見解である」の文章が、US からは「軽減技術を追加導入することにより共用は可能になる可能性もあり、ITU-R におけるさらなる検討が必要との見解である」の文章が提案され、これらの文章は鍵カッコ付きでプレナリに上程された。プレナリでは、格上げ支持派(フランス、カナダ、ドイツ、ノールウエー、オランダ、フィンランド)と格上げ反対派(UK、USA、スウエーデン)に分かれてしまい、レポート草案として議長報告添付された。

## 4　今後の予定

CPM Textを最終的に完成させるCPM15-2会合は、平成26年3月23日～4月2日まで、ジュネーブにて開催される予定である。

**付属資料1　日本入力文書の審議結果**

| 担当ＷＧ | 文書番号 | 概　要 | 審議結果 | 出力文書 |
|---|---|---|---|---|
| AH10 | 4-5-6-7/625 | 暫定新報告案ITU-R RS.[EESS 1.4GHZ]の修正提案 | 新報告案に反映された | TEMP/145 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| DG Parameters | 4-5-6-7/626 | CPMテキスト案における関連ITU-R文書のリストアップをJTG議長報告のAnnex 2に取りまとめ参照する方向であることを前提に、JTG議長報告のAnnex 2の更新として、次の修正を提案。<br>①Annex 2の冒頭部分の記述をそれ以下のリストアップ内容を反映したものに修正提案<br>②勧告ITU-R F.1336のIMT基地局アンテナ特性の現行化提案<br>③勧告ITU-R SF.1486を、固定衛星業務のセクションに関連ITU-R勧告として追加提案 | ①、②はJTG4-5-6-7議長報告Annex 2に反映され、③については、C-band down linkに関する技術検討において参照したが検討で直接使用されなかったとして反映されなかった。 | TEMP/171 |
| AH1 | 4-5-6-7/627 | WRC-15議題1.1における3 400-4200 MHZ及び4 400-4 900MHZ帯に関するさらなる考察 | 議長報告Annex1に反映された | TEMP/168 |
| SWG1.1 | 4-5-6-7/628 | WRC-15議題1.1のCPMテキスト草案に向けた作業文書への修正提案 | 議題1.1CPMテキスト案に一部反映された | TEMP/172Rev1 |

## 付属資料2　JTG 4-5-6-7入力文書一覧表

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 585 | Liaison statement to Working Parties 1B, 4A, 4C, 5A, 5B, 7B, 7C, Joint Task Group 4-5-6-7 and the Special Commitee as responsible Groups for WRC-15 agenda items 1.1, 1.3, 1.5, 1.6, 1.9, 1.10, 1.11, 1.12, 1.17, 1.18, 7, 9.1.1, 9.1.2., 9.1.5, 9.1.6, 9.1.8, 10 (copy to Working Party 5D) | World Meteorological Organization |
| 586 | Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy Working Party 5A) - Reply to the Joint Task Group 4-5-6-7 liaison statement on potential mitigation techniques for RLAN interference to EESS (active) in the band 5 350-5 470 MHz | WP 7C |
| 587 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 | United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland |
| 588 | Arrangements for the final meeting of Joint Task Group 4-5-6-7 | Chairman, JTG 4-5-6-7 |
| 589 | Guidance for the preparation of concise draft CPM texts for WRC-15 agenda item 1.1 and 1.2 | Chairman, JTG 4-5-6-7 |
| 590 | Reply liaison statement to ITU-R Joint Task Group 4-5-6-7 (copy for information to Working Party 5A) - Possible mitigation techniques to address interference to EESS (active) and radiodetermination from the potential use of the frequency bands 5 350-5 470 and/or 5 725-5 850 MHz bay WAS/RLANS | WP 5B |
| 591 | Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Parties 5B and 7C for information) - Possible mitigation techniques to address interference to EESS (active) and radiodetermination from the potential use of the frequency band 5 350-5 470 MHz by RLANs | WP 5A |
| 592 | Proposed editorial revisions to CPM text on WRC-15 agenda item 1.1 | Canada |
| 593 | Proposed changes to the draft CPM text on WRC-15 agenda item 1.1 for the band 5 350-5 470 MHz | Canada |
| 594 | Proposals on views about certain bands allocated to fixed-satellite service under WARC-15 agenda item 1.1 | Nicaragua |
| 595 | Liaison statement - Channelling arrangements for 694-790 MHz for agenda item 1.2 | WP 5D |
| 596 | Editorial modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | United Kingdom of Great Britain and Northern Irela |
| 597 | Use of agreed parameters in studies within Joint Task Group 4-5-6-7 | Chairman, JTG 4-5-6-7 |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 598 | Correspondence Group to develop the Recommendation/Report on the assessment of the protection of DTTB reception considering the cumulative interference from IMT base stations for application in the GE06 area - Report | CG on DTTB |
| 599 | Liaison statement to ITU-R Joint Task Group 4-5-6-7 on World Radiocommunication Conference 2015 (WRC-15), agenda item 1.1 - Additional comments in relation to frequency bands identified by ITU-R for future assessment of the suitability for IMT | International Maritime Organization |
| 600 | Finalisation of draft new Report ITU-R RS.EESS RLAN 5 GHZ | France |
| 601 | DFS minimum requirement to ensure an adequate protection to frequency hopping radars in the 5 GHz band | France |
| 602 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 | France |
| 603 | Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.BSMS700 | France |
| 604 | Modification of PDNR ITU-R M.RLAN5GHZ.SHAR | France |
| 605 | Analysis of the e.i.r.p. mask proposed in Joint Task Group as a mitigation technique to protect EESS (active) systems from interference by RLAN in the band 5 350-5 470 MHz | France |
| 606 | Analysis of a change of RLAN channelisation as a mitigation technique to protect ESS (active) systems from interference by RLAN in the band 5 350-5 470 MHz | France |
| 607 | Further considerations on RLAN 5 GHz antenna | France |
| 608 | Annex 3 to Joint Task Group 4-5-6-7 Chairman's Report - Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 - Chapter 1 - Mobile and Amateur issues | France |
| 609 | Update of the compatibility study between RLAN 5 GHz and EESS (active) in the band 5 350-5 470 MHz | France |
| 610 | Proposed changes to the working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Australia |
| 611 | Proposal on certain bands allocated to fixed-satellite service under WRC-15 agenda item 1.1 | Arab Satellite Communications Organization |
| 612 | Frequency plan for the use of International Mobile Telecommunications (IMT) for broadband public protection and disaster relief (BB-PPDR) and other special applications | Russian Federation |
| 613 | Definition of out-of-band emission limit for mobile service user equipment under the agenda item 1.2 | Russian Federation |
| 614 | Proposal on modification of working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 for Sections 1/1.2/5.2 and 1/1.2/6.2 | Russian Federation |
| 615 | Proposals on issue "C" in framework of agenda item 1.2 WRC-15 | Russian Federation |
| 616 | Proposal on new method on SAP/SAB issues in accordance with WRC-15 agenda item 1.2 | Russian Federation |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 617 | Proposed modifications to the working document towards preliminary draft new Report ITU-R BS.BS_IMT | Russian Federation |
| 618 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft new Report ITU-R M.BSS-MS | Russian Federation |
| 619 | Proposal on the issue of adjacent channel and adjacent band studies relation within the framework of agenda item 1.1 | Russian Federation |
| 620 | Proposed modifications to working document towards draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Russian Federation |
| 621 | Proposals for modification of draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 in relation to compatibility issue of MS with ARNS | Russian Federation |
| 622 | RLAN and bistatic radars in the 5 GHz-band update of Document 4-5-6-7/450 | Germany (Federal Republic of) |
| 623 | Proposed changes to the draft CPM text on WRC-15 agenda item 1.2 | Germany (Federal Republic of) |
| 624 | An examination of possible mitigation techniques to address sharing between EESS (active) and RLANs in the band 5 350-5 470 MHz | Canada |
| 625 | Proposed modification to the preliminary draft new Report ITU-R RS.EESS 1.4GHZ | Japan |
| 626 | Proposed updates of Annex 2 of Joint Task Group Chairman's Report | Japan |
| 627 | Further considerations on 3 400-4 200 MHz and 4 400-4 900 MHz frequency bands under WRC-15 agenda item 1.1 | Japan |
| 628 | Proposed revisions to workind document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Japan |
| 629 | Proposed revision to draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | European Organisation for the Exploitation of Meteorological Satellites |
| 630 | Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new ITU-R Report on sharing and compatibility studies under agenda item 1.2, "Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and IMT in the frequency band 694-790 MHz in the GE06 planning area adjacent channel | France , Poland (Republic of) , Sweden , United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland |
| 631 | Compatibility studies between radio local area networks systems and radiolocation systems in the 5 350-5 470 MHz frequency band | United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 632 | Proposals to update the results of sharing analysis between RLAN and EESS | United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland |
| 633 | Consideration on Geo-location databases as a mitigation technique for RLANs in the 5 350-5 470 MHz band | United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland |
| 634 | 5 350-5 470 MHz: modification to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland |
| 635 | Proposed modifications to draft new Report ITU-R BS.BS_IMT on sharing between the mobile service (MS) and the broadcasting service (BS) in the 1 452-1 492 MHz frequency band | France |
| 636 | Transient impact of airborne telemetry over IMT base station within 1 429-1 518 MHz band | France |
| 637 | Sharing studies between IMT user equipment (UE) in DL and airborne telemetry transmitter within 1 492-1 518 MHz band | France |
| 638 | Proposed modifications to the preliminary draft new Report ITU-R RS.EESS 1.4 GHZ | Brazil (Federative Republic of) |
| 639 | Proposed modifications to the preliminary draft new Report ITU-R M.AMT-IMT.SHARING.L-BAND - Sharing studies between potential IMT systems and aeronautical mobile telemetry systems in the frequency band 1 492-1 535 MHz | Brazil (Federative Republic of) |
| 640 | Proposed modifications to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.RADAR1300 - Studies on the impact of IMT use on radar systems in the frequency range 1 300-1 400 MHz | Brazil (Federative Republic of) |
| 641 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda time 1.1 regarding the Section 4.1.2 | Brazil (Federative Republic of) |
| 642 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Brazil (Federative Republic of) |
| 643 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 regarding the Section 4.1.1 | Brazil (Federative Republic of) |
| 644 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 regarding the Sections 4.1.7, 4.1.8 and 4.1.11 | Brazil (Federative Republic of) |
| 645 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Argentine Republic |
| 646 | Consideration of working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.BSMS700 | Korea (Republic of) |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 647 | Proposed modification to the draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Korea (Republic of) |
| 648 | Draft new Report ITU-R BT.MBB_DTTB_470_694 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz | North American Broadcasters Association (NABA) |
| 649 | Technical assessment of protential interference between IMT systems and the mobile service in the 4 400-4 990 MHz band | United States of America |
| 650 | Technical assessment of potential interference between IMT systems and the fixed service in the 4 400-4 990 MHz band | United States of America |
| 651 | Output of Joint Task Group 4-5-6-7 regarding draft new Reports - Agenda item 1.1 | United States of America |
| 652 | Proposed revisions to working document toward preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | United States of America |
| 653 | Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R F.IMT 4 400-4 990 MHZ SHARING AND COMPATIBILITY | China (People's Republic of) |
| 654 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | China (People's Republic of) |
| 655 | Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 and the Special Committee as Responsible Groups for WRC-15 agenda items 1.1 | World Meteorological Organization |
| 656 | Studies related to the assessment of the frequency range 2 700-2 900 MHz for consideration under WRC-15 agenda item 1.1 working document towards preliminary draft new Report ITU-R RADAR2700 | United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland |
| 657 | Studies related to the assessment of the frequency range 2 900-3 100 MHz for consideration under WRC-15 agenda item 1.1 working document towards preliminary draft new Report ITU-R RADAR2900 | United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland |
| 658 | Proposed modifications to the draft CPM text on WRC-15 agenda item 1.1 | Finland |
| 659 | Characterization of the RF emission patterns of IEEE 802.11 AC wireless LAN devices | European Union |
| 660 | Considerations on 5 GHz RLAN deployment density | European Union |
| 661 | Draft CPM text - Sharing between IMT-Advanced and radiodetermination systems in the band 1 350-1 400 MHz | Telstra Corporation Ltd. |
| 662 | Draft CPM text - Sharing between IMT-Advanced and radiodetermination systems in the band 2 700-2 900 MHz | Telstra Corporation Ltd. |
| 663 | Draft CPM text - Sharing between IMT-Advanced and radiodetermination systems in the band 2 900-3 100 MHz | Telstra Corporation Ltd. |
| 664 | Sharing studies between RLANs and EESS (active) in the 5 350-5 470 MHz band under WRC-15 agenda item 1.1 | European Space Agency |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 665 | Proposed revisions to draft new Report ITU-R RS.EESS RLAN 5 GHZ | European Space Agency |
| 666 | Proposed revision to draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | European Space Agency |
| 667 | Proposed revision to PDNR ITU-R RS.EESS 1.4 GHz on compatibility between IMT and EESS (passive) around 1.4 GHz | European Space Agency |
| 668 | Proposed changes to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | European Broadcasting Union |
| 669 | Draft new Report ITU-R BT.MBB_DTTB_470_694 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz | European Broadcasting Union |
| 670 | Proposed changes to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 | European Broadcasting Union |
| 671 | Proposed liaison statement to Working Party 5D - Channelling arrangements for 694-790 MHz for agenda item 1.2 | European Broadcasting Union |
| 672 | Proposed changes to the Recommendation/Report on the assessment of the protection of DTTB reception considering the cumulative interference from IMT base stations for application in the GE06 area | European Broadcasting Union |
| 673 | Working document towards preliminary draft new Report on sharing and compatibility studies under agenda item 1.2 - Proposal to split existing working document into separate PDNRs on co-channel and adjacent-channel sharing between digital terrestrial television broadcasting and IMT in the frequency band 694-790 MHz in the GE06 planning area | European Broadcasting Union |
| 674 | Use of agreed parameters in studies within Joint Task Group 4-5-6-7 | Telstra Corporation Ltd. |
| 675 | Proposed PFD limits for coordination in the bands 3 400-3 600 MHz, 3 600-3 800 MHz and 3 800-4 200 MHz | GSM Association |
| 676 | Use of agreed parameters in studies within Joint Task Group 4-5-6-7 | Telstra Corporation Ltd. |
| 677 | Observations on Document 4-5-6-7/584 Annex 6, Attachment 7, RADAR2700 Attachments 2, 7, 8/9 and 10 | GSM Association |
| 678 | Comments and observations regarding Joint Task Group 4-5-6-7 sharing studies | GSM Association |
| 679 | Modifications to working document towards preliminary draft new Report ITU-R F.IMT 1 350-1 530 MHz CO-CHANNEL SHARING | GSM Association |
| 680 | Observations on Document 4-5-6-7/584 Annex 6, Attachment 3, RADAR1300 Annexes 2 and 3 | GSM Association |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 681 | Importance of the C-band for the fixed-satellite service | Al Yah Satellite Communications (YahSat), ASTRIUM SAS, Eutelsat S.A., HISPASAT, S.A., Inmarsat Plc., Intelsat, SES WORLD SKIES, THALES (France), Thuraya Telecommunications Company |
| 682 | Analysis of the co-existence of radio local area (RLAN) systems and radiolocation service systems in the 5 350-5 470 MHz and 5 725-5 850 MHz band and evaluation of dynamic frequency selection (DFS) as mitigation technique | Italy |
| 683 | Current Italian experience on the management of possible interference on DTT reception from IMT networks in the 800 MHz band Italy | Italy |
| 684 | Proposed changes to preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 for the band 3 400-4 200 MHz | Italy |
| 685 | Positions on candidate bands for WRC-15 agenda item 1.1 | Italy |
| 686 | Clarification of difference between interference from single and multiple sources for sharing Study A1 | Finland, France, Germany (Federal Republic of), Latvia (Republic of), Lithuania (Republic of), Norway, Poland (Republic of), Romania, Sweden |

| 文書番号<br>4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 687 | Proposed modifications for working document towards preliminary draft new Report ITU-R M.ARNS-MS | Finland , France , Germany (Federal Republic of) , Latvia (Republic of) , Lithuania (Republic of) , Norway , Poland (Republic of) , Romania , Sweden |
| 688 | Updated study on sharing between IMT systems and radars in the 2 700-2 900 MHz band | Sweden |
| 689 | CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Sweden |
| 690 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 | Lesotho (Kingdom of) , South Africa (Republic of) , Uganda (Republic of) , Zimbabwe (Republic of) |
| 691 | Proposed modifications to the working document on a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.BSMS700 | Lesotho (Kingdom of) , South Africa (Republic of) , Uganda (Republic of) , Zimbabwe (Republic of) |
| 692 | Proposals for the working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | UMTS Forum |
| 693 | Proposed modification for working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 | Finland , France , Germany (Federal Republic of) , Latvia (Republic of) , Lithuania (Republic of) , Norway , Poland (Republic of) , Romania , Sweden |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 694 | Proposed revisions to the draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Al Yah Satellite Communications (YahSat), ASTRIUM SAS, Eutelsat S.A., HISPASAT, S.A., Inmarsat Plc., Intelsat, SES WORLD SKIES, Telesat Canada, Thuraya Telecommunications Company |
| 695 | Treatment of Reports that reach the draft new Report status within the JTG 4-5-6-7 | Luxembourg |
| 696 | Treatment of Reports that reach the status of draft new Report within JTG 4-5-6-7: Clarifications | France, Germany (Federal Republic of), Luxembourg, Netherlands (Kingdom of the), Sweden |
| 697 | Future spectrum requirements estimation for terrestrial IMT and proposed revisions to draft CPM text on WRC-15 agenda item 1.1 | Al Yah Satellite Communications (YahSat), ASTRIUM SAS, European Space Agency, Eutelsat S.A., HISPASAT, S.A., Inmarsat Plc., Intelsat, SES WORLD SKIES, THALES (France), Thuraya Telecommunications Company |
| 698 | Proposed modifications to the draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Luxembourg |
| 699 | Proposed revisions to working document: "Compatibility studies of the mobile service with the mobile-satellite service in the frequency bands 1 518-1 559 MHz, 1 626.5-1 660.5 MHz and 1 668-1 675 MHz" | Inmarsat Plc., Thuraya Telecommunications Company |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 700 | Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new ITU-R Report on sharing and compatibility studies under agenda item 1.2, "Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and IMT in the frequency band 694-790 MHz in the GE06 planning area ADJACENT CHANNEL | Norddeutscher Rundfunk (NDR) , Zweites Deutsches Fernsehen |
| 701 | Proposed changes to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Norddeutscher Rundfunk (NDR) , Zweites Deutsches Fernsehen |
| 702 | CPM text for WRC-15 agenda item 1.1, 1 300-1 527 MHz, 3 400-4 200 MHz | Sweden |
| 703 | Impact of aeronautical telemetry systems on IMT UE in the frequency band 1 429-1 525 MHz | Lithuania (Republic of) |
| 704 | Preliminary draft new Report ITU-R RS.EESS RLAN 5 GHZ - Sharing studies between RLAN and EESS (active) systems in the frequency range 5 350-5 470 MHz | United States of America |
| 705 | Sharing between radio local area network (RLAN) systems and radiolocation service systems in the 5 350-5 470 MHz frequency range | United States of America |
| 706 | Proposal regarding the band 470-694 MHz under WRC-15 agenda item 1.1 | Zimbabwe (Republic of) |
| 707 | Compatibility studies between radio local area network systems and shipborne radiodetermination systems in the 5 350-5 470 MHz frequency range | United States of America |
| 708 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 "Views on methods to satisfy the agenda item" | Bahrain (Kingdom of) , Egypt (Arab Republic of) , Jordan (Hashemite Kingdom of) , Kuwait (State of) , Oman (Sultanate of) , Sudan (Republic of the) , United Arab Emirates |
| 709 | Proposed modifications to working document towards a preliminary draft CPM text for agenda item 1.2 "OOBE level and channeling arrangements" | Bahrain (Kingdom of) , Egypt (Arab Republic of) , Jordan (Hashemite Kingdom of) , Kuwait (State of) , Sudan (Republic of the) , United Arab Emirates |

| 文書番号 4-5-6-7/ | 文書タイトル | 提出元 |
|---|---|---|
| 710 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text or WRC-15 agenda item1.1 | United Arab Emirates |
| 711 | Proposed modifications to working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 "Regulatory and procedural considerations" | United Arab Emirates |
| 712 | Inconsistencies between IMT parameters and deployment scenarios given in Annex 2 to Document 4-5-6-7/584 and those used in the Joint Task Group 4-5-6-7 studies given in Document 4-5-6-7/584 Annex 6 and Annex 11 | Alcatel-Lucent International , AT&T, Inc. , Bell Mobility , Intel Corporation , Mototola Mobility LLC , Qualcomm, Inc. , Rogers Communication Partnership , SOFTBANK MOBILE Corp. , Sprint Corporation , Telstra Corporation Ltd. |

## 付属資料2-2　JTG 4-5-6-7入力文書の割当

| Plenary, Chairman: Mr Martin Fenton | | |
|---|---|---|
| **Reports/Recommendations** | **Agenda item** | **Input documents** |
| Documents of a general nature | 1.1/1.2 | ADM/35(Rev.1), 585, 586, 588, 589, 590, 591, 595, 597, 598, 599, 612, 619, 651, 655, 671, 683, 695, 696 |
| **Ad Hoc 1, Chairman: Mr John Lewis<br>Summary of comments on frequency bands which may be considered under WRC-15 agenda item 1.1** | | |
| **Reports/Recommendations** | **Agenda item** | **Input documents** |
| Summary of comments on frequency bands which may be considered under WRC-15 agenda item 1.1 | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 9), 585, 594, 599, 611, 627, 655, 681, 685, 706 |
| **WG 1, Chairman: Ms Cindy-Lee Cook<br>Draft CPM Text** | | |
| **Reports/Recommendations** | **Agenda item** | **Input documents** |
| Draft CPM text | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 3), 589, 592, 593, 596, 608, 610, 620, 628, 629, 634, 641, 642, 643, 644, 645, 647, 652, 654, 658, 661, 662, 663, 666, 668, 675, 682, 684, 689, 692, 694, 697, 698, 701, 702, 706, 710 |
| | 1.2 | 4-5-6-7/584(Annex 4), 587, 589, 595, 602, 612, 614, 615, 616, 621, 623, 686, 670, 671, 690, 693, 708, 709, 711 |

| Broadcasting and SAB/SAP | | | |
|---|---|---|---|
| **Ad-hoc (Chairman)** | **Reports/Recommendations** | **Agenda item** | **Input documents** |
| 2<br>BS AI 1.1<br>(A. Sanders) | Rep ITU-R BT.[MBB_DTTB_470_694] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 11, Att. 1), 648, 669 |
| | Rep ITU-R BS.[BS-IMT] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Rev.1, Annex 5, Att. 4), 617, 635 |
| 3<br>BS AI 1.2<br>(R. Beutler) | Rep ITU-R BT.[TBD]/Annex 5 Atts. 2&3 | 1.2 | 4-5-6-7/584(Rev.1, Annex 5, Atts. 2 & 3), 613, 630, 673, 691, 700 |
| | Rec ITU-R M.[BSMS700] | 1.2 | 4-5-6-7/584(Rev.1, Annex 5, Att. 1), 595, 603, 613, 646, 691 |
| | Rec ITU-R BT.[DVBTPROT700] | 1.2 | 4-5-6-7/598, 672 |
| **Terrestrial services** | | | |
| **Ad-hoc (Chairman)** | **Reports/Recommendations** | **Agenda item** | **Input documents** |
| 4<br>Ter.<br>Aeronaut.<br>(M. Polzun) | Rep ITU-R M.[ARNS-MS] | 1.2 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 2), 615, 678, 686, 687 |
| | Rep ITU-R M.[AMT-IMT.SHARING.L-BAND] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 6), 636, 637, 639, 678, 703 |
| | Report ITU-R M.[AERO-IMT.SHARING.C-BAND] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 11), 649 |
| 5<br>Ter. FS/MS<br>(S. Jones) | Rep ITU-R F.[IMT 1 350-1 530 MHz CO-CHANNEL SHARING] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 4), 679 |
| | Rep. ITU-R F.[IMT 470-694/8 MHz SHARING] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 1) |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | Rep. ITU-R F.[IMT 470-694/8 MHz SHARING] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 10) |
| | Rep ITU-R F.[IMT 5 925 6 425 MHz SHARING] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 15) |
| | Report ITU-R F.[IMT 4 400-4 990 MHz SHARING AND COMPATIBILITY] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 12), 650, 653 |
| 6 Ter. Radar (S. Talbot) | Rep ITU-R M.[RADAR1300] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 3), 619,640, 674, 677, 678, 680, 712 |
| | Rep ITU-R M.[RADAR2700] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 7),619, 656, 674, 677, 678, 688, 712 |
| | Rep. ITU-R M.[RADAR3300] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 9),619 |
| | Rep ITU-R M.[RADAR2900] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 8),619, 657, 676, 712 |
| 7 Ter. 5 GHz (S. Ward) | Rep ITU R M.[RLAN5 GHz.SHAR] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 6, Att. 14), 590, 591, 601, 604, 622, 631, 659, 660, 682, 705, 707 |
| **Satellite services** | | | |
| **Ad-hoc (Chairman)** | **Reports/Recommendations** | **Agenda item** | **Input documents** |
| 8 Sat. BSS (E. Fournier) | Rep ITU R RS.[BSS-MS] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 7, Att. 1), 618 |
| 9 Sat MSS (P. Deedman) | Rep ITU-R [MSS-MS]/Annex 7 Att. 2 | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 7, Att. 2), 699 |
| **Science services** | | | |
| **Ad-hoc (Chairman)** | **Reports/Recommendations** | **Agenda item** | **Input documents** |
| 10 Sci. 1.4 GHz (G. Feldhake) | Rep ITU R RS.[EESS 1.4 GHz] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 8, Att. 1), 625, 638, 667 |
| 11 Sci. 5 GHz (E. Marelli) | Rep ITU R RS.[EESS RLAN 5 GHz] | 1.1 | 4-5-6-7/584(Annex 8, Att. 2), 586, 591, 600, 605, 606, 607, 609, 624, 632, 633, 655, 659, 660, 664, 665, 704 |

| **Drafting Group, Chairman: Mr Michael Krämer Technical and operational parameters** | | |
|---|---|---|
| **Reports/Recommendations** | **Agenda item** | **Input documents** |
| Technical and operational parameters | 1.1/1.2 | 4-5-6-7/584(Annex 2), 607, 626, 659 |

付属資料3　JTG4-5-6-7出力文書一覧表

| 文書番号<br>(4-5-6-7/<br>TEMP/) | 題　目 | 処理 |
|---|---|---|
| 144 | Attachment 4 - Preliminary draft new Report ITU-R F.IMT 1 350-1 530 MHz CO-CHANNEL SHARING | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex10) |
| 145 | Draft new Report ITU-R RS.EESS 1.4 GHZ - Consideration of the frequency bands 1 375-1 400 MHz and 1 427-1 452 MHz for the mobile service - compatibility with systems of the Earth exploration-satellite service (EESS) within the 1 400-1 427 MHz frequency band | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex11) |
| 146 | Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R RADAR2900 - Studies on the impact of IMT use on radar systems in the frequency band 2 900-3 100 MHz | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex31) |
| 147 | Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.RADAR1300 - Studies on the impact of IMT use on radar systems in the frequency range 1 300-1 400 MHz | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex25) |
| 148 | Working document towards preliminary draft new Report ITU-R RADAR2700 - Studies on the impact of IMT use on radar systems in the frequency band 2 700-2 900 MHz | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex30) |
| 149 | Draft new Report ITU-R BT.MBB_DTTB_470_694 - Sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and terrestrial mobile broadband applications, including IMT, in the frequency band 470-694/698 MHz | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex5) |
| 150 | Revisions to Attachment 4 of Annex 5 of Document 4-5-6-7/584 - Draft new Report ITU-R BS.BS_IMT - Sharing between the mobile service (MS) and the broadcasting service (BS) in the 1 452-1 492 MHz frequency band | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex13) |
| 151 | Attachment to JTG 4-5-6-7 Chairman's Report - Compatibility Sharing studies of IMT-Advanced systems in the mobile service with respect to systems in the mobile-satellite service in the frequency bands 1 518 1 559 MHz, 1 626.5-1 660.5 MHz and 1 668-1 675 MHz | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex29) |
| 152 | Draft new Report ITU-R F.IMT 470-694/6988 MHz SHARING - Sharing and compatibility between IMT systems and fixed service systems in the 470-694/698 MHz frequency range | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex6) |
| 153 | Draft new Report ITU-R F.IMT 5 925-6 425 MHz SHARING - Sharing and compatibility study between indoor IMT small cells and fixed service stations in the 5 925-6 425 MHz frequency band | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex20) |
| 154 | Draft new Report ITU-R F.IMT 3 400-4 200 MHz SHARING - Sharing and compatibility between IMT systems and fixed service systems in the 3 400-4 200 MHz frequency range | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex16) |

| 文書番号<br>(4-5-6-7/<br>TEMP/) | 題　目 | 処理 |
|---|---|---|
| 155<br>(Rev.1) | Preliminary draft new Report ITU-R F.IMT 4 400-4 990 MHz SHARING AND COMPATIBILITY - Sharing and compatibility study between IMT systems and point-to-point fixed wireless systems in the frequency band 4 400-4 990 MHz | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex18) |
| 156 | Working document towards preliminary draft new Report ITU-R M.RLAN5GHZ.SHAR Compatibility studies between radio local area network systems and radiodetermination systems in the 5 350-5 470 MHz frequency band | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex34) |
| 157 | Preliminary Draft new Report ITU-R M.RADAR3300 - Sharing between indoor IMT systems and radar systems in the frequency band 3 300-3 400 MHz for WRC-15 agenda item 1.1 | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex32) |
| 158 | Working document towards preliminary draft new Report ITU-R M.BSS-MS - Sharing and compatibility studies between IMT systems and BSS systems in the frequency band 1 452-1 492 MHz | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex27) |
| 159 | Draft new Report ITU-R BT.IMT_DTTB_694-790-CO-CHANNEL - Co-channel sharing and compatibility studies between digital terrestrial television broadcasting and IMT in the frequency band 694-790 MHz in the GE06 planning area | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex9) |
| 160<br>(Rev.1) | Preliminary draft new ITU-R Report on sharing and compatibility studies under agenda item 1.2 - Adjacent channel compatibility between IMT in the frequency band 694-790 MHz and digital terrestrial television broadcasting in the GE06 planning area | PlenaryでNote |
| 161 | Correspondence Group to develop the Recommendation/Report on the assessment of the protection of DTTB reception considering the cumulative interference from IMT base stations for application in the GE06 area - Report | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex24) |
| 162<br>(Rev.1) | Working document on a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.BSMS700 - Out-of-band emission limit of IMT mobile stations operating in the frequency band 694-790 MHz in Region 1 | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex21) |
| 163 | Working document for attachment to the JTG 4-5-6-7 Chairman's Report - Adjacent band compatibility studies of IMT-Advanced systems in the mobile service in the band below 1518 MHz with respect to systems in the mobile-satellite service in the frequency band 1 518 1 559 MHz | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex28) |
| 164 | Preliminary Draft new Report ITU R RS.EESS RLAN 5 GHz - Sharing studies between RLAN and EESS (active) systems in the frequency range 5 350-5 470 MHz | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex35) |
| 165<br>(Rev.1) | Draft new Report ITU-R M.AMT-IMT.SHARING.L-BAND - Sharing studies between potential IMT systems and aeronautical mobile telemetry systems in the frequency band 1 429-1 535 MHz | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex12) |

| 文書番号<br>(4-5-6-7/<br>TEMP/) | 題　目 | 処理 |
|---|---|---|
| 166 | Preliminary draft new Report ITU-R M.AERO-IMT.SHARING.C-BAND - Sharing and compatibility studies between aeronautical mobile/ground mobile applications and potential IMT systems in the 4 400-4 990 MHz band | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex33) |
| 167 | Working document towards preliminary draft new Report ITU-R M.ARNS-MS - Compatibility studies of the mobile service with the aeronautical radionavigation service in the frequency band 694-790 MHz in Region 1 | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex23) |
| 168 | Summary of comments received in Joint Task Group 4-5-6-7 input contributions relating to certain frequency bands which may be considered under WRC-15 agenda item 1.1 | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex1) |
| 169<br>(Rev.1) | Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.2 | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex4) |
| 170<br>(Rev.1) | Working document for sections 3.2 and 4.1 of the CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex3) |
| 171 | Compilation of material maintained by the Joint Task Group 4-5-6-7 Working Groups | PlenaryでNote<br>(議長報告<br>Annex2) |
| 172<br>(Rev.1) | Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-15 agenda item 1.1 - Chapter 1 - Mobile and amateur issues | Plenaryで承認<br>(議長報告<br>Annex3) |

別紙

ITU-R JTG4-5-6-7 第6回会合 日本代表団

| | 氏 名 | 所 属 |
|---|---|---|
| 団長 | 森下 信 | 総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課<br>新世代移動通信システム推進室長 |
| | 五十嵐 徹 | 総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係長 |
| | 濵﨑 隆志 | (独)宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 |
| | 橋本 明 | (株)NTTドコモ 無線標準化推進室 室長 |
| | 新 博行 | (株)NTTドコモ 無線アクセス開発部 無線方式担当 |
| | 植田 由美 | (株)NTTドコモ 無線標準化推進室 主査 |
| | 硎 琢己 | (株)NTTドコモ 電波部 電波企画担当 課長 |
| | 菅田 明則 | KDDI(株) 技術企画本部 電波部 担当部長 |
| | 中村 立美 | KDDI(株) 技術企画本部 電波部 管理グループ 課長 |
| | 小松 裕 | ソフトバンクモバイル(株) モバイルネットワーク本部 電波部 |
| | 青木 章 | ソフトバンクモバイル(株) 電波制度室 標準化推進部 |
| | 久代 雄一郎 | 日本放送協会 技術局計画部 副部長 |
| | 神原 浩平 | 日本放送協会 技術局計画部 専任エンジニア |
| | 小川 博世 | 一般社団法人電波産業会 研究開発本部 次長 |
| | 石田 良英 | 一般社団法人電波産業会 研究開発本部 移動通信ｸﾞﾙｰﾌﾟ 担当部長 |